Market Letter 情報提供資料

6月26日の米国株式市場の下落について

経済活動再開の動きが後退

2020年6月29日

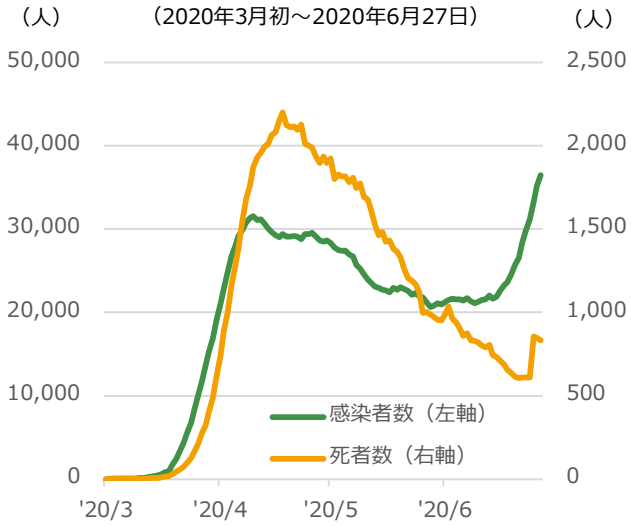
米国での新型コロナウイルス感染第２波懸念が強まる

6月26日（現地、以下同様）の米国株式市場は、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数がそれぞれ2.5%前後、下落しました。下落の要因としては、以下のような点があげられます。

- 新型コロナウイルスに関して、米国における日々の新規感染者数が過去最多を更新する中、フロリダ州やテキサス州でバーの閉鎖やレストランへの制限措置強化などが発表されたため、市場では経済活動再停止への懸念が強まったこと。
- 人種問題を巡る対応が不十分として、企業から広告の出稿停止を受けているソーシャルメディア関連株が急落し、投資家心理を悪化させたこと。
- FRB（米国連邦準備制度理事会）が、少なくとも7-9月期まで増配や自社株買いの再開禁止を銀行業界に指示したことを受けて、銀行株が売られたこと。

米国においては、新型コロナウイルスの感染第2波が現実味を帯びてきたことで、株式市場はしばらく不安定な推移が続く可能性もありそうです。4月に比べると、今のところ死者数は抑制されているため、医療崩壊のような状況には陥っていないと考えられますが、感染者が急増している州では、入院患者数や集中治療室の利用数も増加していると報じられていることから、今後の動向には注意が必要です。

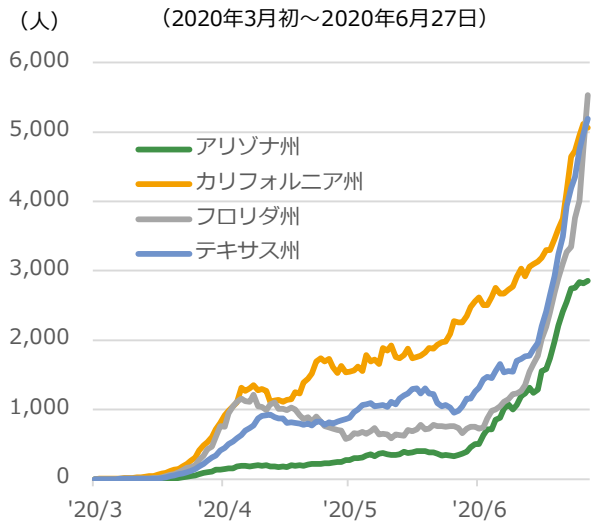
米国全体の新規感染者数・死者数



※データは7日移動平均

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

新規感染者数の急増がみられる州



※データは7日移動平均

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。